

ぼうさい通信 (第2号)

平成 30 年 11 月 6 日 (火)
岐阜清流高等特別支援学校
保健安全部 No.2

防災訓練を生かす! 9 月、防災教育月間で行った生徒による学校安全チェックでは、「窓ガラスが割れて危険」が多く上げられました。学校のガラスは飛散防止シートが貼ってあったり強化ガラスになっているところもありますが、安全を考えれば窓ガラスのそばへの避難は避けるべきでしょう。そして、身を守る行動では「机の下に隠れる」が多くありましたが、「何もないところで身をかがめる。」という意見もあり、大規模地震が起きた時、安全に避難する方法について考える良い訓練になりました。



登下校中に大地震 (H30.6.18 朝の大阪北部の地震、最大震度 6 弱を想定) が発生したとき、あなたはどのような行動をとりますか。バスに乗っているかもしれません。大きな橋を自転車で渡っているかもしれません。登下校の時こそ訓練を生かして、「物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」安全な場所を探して、自分の身は自分で守ることができるように備えていきましょう。

本当に役立つ防災用品 9 月 6 日午前 3 時 8 分ごろ、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード 6.7 の地震が発生し、厚真町で最大震度 7 が観測されました。土砂崩れや家屋倒壊など大きな被害が発生し、北海道のほぼ全域で停電となる史上初の「ブラックアウト」となり、おおむね解消したのは発生 2 日後のことでした。その他のライフラインについても被害は甚大で、復旧までに多くの時間を要しました。このような災害にみまわれた時に必要なのが防災用品です。



防災用品は、様々な災害を想定すると、必要と思われるものが際限なく増えてしまいます。自分で何が必要かを考えて備えなければ本当に役立つものは揃いません。そして、できる限り「普段から使えるもの」を揃える、あるいは「普段から使うように心がける」と良いでしょう。

非常持ち出し品

- ・ 貴重品
- ・ 非常食品
- ・ 応急医薬品
- ・ その他

非常備蓄品

- ・ 非常食品
- ・ 燃料
- ・ 生活用品
- ・ 生活用水
- ・ その他

☆非常備蓄品のポイント☆

- ※ 最低限「3 日分」。南海トラフ巨大地震では「1 週間分以上」が望ましい。
- ※ ローリングストック法 (日常的に非常食を食べ、食べたらずいぶんという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法)

火災が発生しやすい時期を迎えます。

- 防火標語 (平成 30 年度全国統一防火標語)
『忘れてない? サイフにスマホに火の確認』
- 平成 30 年度秋季全国火災予防運動
11 月 9 日 (金) ~ 11 月 15 日 (木)

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

【3つの習慣】

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協体制をつくる。

